

2025年12月23日

各 位

株式会社タカショ－ 代表取締役社長 高岡 伸夫
株式会社タカショ－デジテック 代表取締役社長 古澤 良祐

タカショ－デジテック、民間主導の宇宙産業推進会社 WALL に出資 超小型人工衛星で防災・減災、企業の BCP 強化など地域課題に貢献、照明活用も探る

株式会社タカショ－（上場コード番号 7590、東証スタンダード、代表取締役社長：高岡伸夫）の連結子会社である株式会社タカショ－デジテック（本社：和歌山県海南市、代表取締役社長：古澤良祐）は宇宙産業を推進します。宇宙産業の人材育成を軸に、2028 年の超小型人工衛星打ち上げを目指す新会社の株式会社 WALL（本社：和歌山市、代表取締役：有井安仁）に出資しました。

WALL は和歌山大学と共同で「宇宙産業人材の実践的育成手法の研究」を進め、実践テーマとして衛星製造に取り組み、主要な宇宙技術を一体的に学べる環境を整えます。人工衛星と IoT 機器を結ぶ非地上系ネットワークによって防災・減災、企業の BCP（事業継続計画）強化など地域課題解決に活用できる人材を育成します。宇宙産業は、今後大きな成長が見込まれる分野ですが、地方においては専門知識や技術を実践的に学び、使いこなす人材や実装の場が不足しているという課題があります。タカショ－デジテックは、これらの課題に向けた人材育成、産業基盤の構築を目指す WALL に賛同し、出資を通じて支援するとともに、衛星製造や衛星運用向けの地上機器製造への協力を通じ、照明の新たな活用を探ります。

WALL はタカショ－デジテックなど和歌山県内に本社・支店を置く 6 社と、超小型人工衛星を製作・運用する株式会社アークエッジ・スペース（本社：東京都江東区）が共同出資し、資本金 2900 万円で設立しました。宇宙産業推進の取り組みは国や自治体主導が一般的で、同一地域の民間主導によるプラットフォーム構築は全国的に珍しいケースとなります。

和歌山県にはわが国初の民間による衛星打ち上げロケット射場を目指すスペースポート紀伊（串本町）があり、運用するスペースワン株式会社（本社：東京都港区）が小型ロケット「カイロス」の商業宇宙輸送サービス提供を始めています。また、和歌山大学は衛星の製造・打ち上げ・運用経験を持ち、衛星データの受信・活用が可能な口径 12m の大型パラボラアンテナを有しています。内閣府委員会の座長として宇宙人材スキル標準の策定を主導し、衛星利用も可能な広域通信網による自然災害情報やシカ罠監視などに取り組む秋山演亮イノベーションイニシアティブ基幹教授も在籍しており、和歌山県は宇宙ビジネス・教育関連の資源が集まった地域と言えます。

当社は、地域に根差した宇宙産業推進プラットフォームを構築する WALL に出資することで、和歌山での新規産業の創出、人材育成、地域課題解決などに貢献します。また、衛星の製造、運用、データ活用などを照明製造や光の演出技術に活用し、新たなイノベーションを推進してまいります。



和歌山大学での WALL 設立記者発表（12月 22日）

（写真左、左から）

和歌山大学 秋山演亮イノベーションイニシアティブ基幹教授、タカショーデジテック古澤良祐代表取締役社長（出資企業）、WALL 有井安仁代表取締役、アークエッジ・スペース柳田幹太取締役 Co-CTO（出資企業）、BEE 久保田善文代表取締役（出資企業）

【株式会社タカショウの概要】

- ・設立=1980年（昭和55年）8月21日
- ・本社所在地=和歌山県海南市南赤坂20-1
- ・資本金=30億4362万円
- ・代表取締役社長=高岡伸夫
- ・事業内容=環境エクステリア（インドアおよびアウトドア庭園、緑化）に関する製品の企画開発など
- ・売上高=198億9000万円（2025年1月期）
- ・URL= <https://takasho.co.jp/>

【株式会社タカショーデジテックの概要】

- ・設立=2004年（平成16年）11月
- ・本社所在地=和歌山県海南市南赤坂20-1
- ・資本金=2000万円
- ・代表取締役社長=古澤良祐
- ・事業内容=屋外照明、LEDサイン、イルミネーション、デザインの各事業
- ・売上高=32億4000万円（2025年1月期）
- ・URL= <https://takasho-digitec.jp/>

【本件の問い合わせ先】

株式会社タカショーデジテック

総務部広報課 曲淵、岩橋

電話=073-484-3618

Email= info@takasho-digitec.jp

以上